

# 第42回令和4年度「保安・技術の研究のための研修会」 開催報告書

【日 時】 令和4年11月9日（水）、10日（木）  
 【開催場所】 東武ホテルレバント東京錦の間  
 【参加人数】 140名  
 【スケジュール】  
 以下の表のとおり

## 第42回（令和4年度）保安・技術の研究のための研修会

公益社団法人日本煙火協会

【日程】令和4年11月9日（水）、10日（木） 【場所】東武ホテルレバント東京（研修会・懇親会）  
 （敬称略・順不同）

| 11月9日（水）（第1日目）      |                                                         |                                    |               | 11月10日（木）（第2日目）     |                                           |                                 |                      |
|---------------------|---------------------------------------------------------|------------------------------------|---------------|---------------------|-------------------------------------------|---------------------------------|----------------------|
| 時 間                 | 題 目                                                     | 講 師                                |               | 時 間                 | 題 目                                       | 講 師                             |                      |
| 14:00<br>～<br>14:10 | 会 長 挨 拶                                                 | 協会会長                               | 磯谷 尚孝         | 10:00<br>～<br>11:00 | 打揚筒内現象の見える化<br>（その2）                      | 協会検査所所長                         | 奥 雄志                 |
| 14:10<br>～<br>14:40 | 本年の煙火事故と保安対策について                                        | 協会専務理事                             | 河野 晴行         | 休 憩 （10分）           |                                           |                                 |                      |
| 休 憩 （10分）           |                                                         |                                    |               | 11:10<br>～<br>12:10 | 麻炭の物性と燃焼性<br>（煙火に用いる麻炭と木炭、<br>その他の類似品の違い） | 協会検査所主任                         | 松井 郁水                |
| 14:50<br>～<br>15:50 | ①煙火事故データベースから見える<br>こと<br>②過去の協会研修会資料<br>（データ）の活用方法について | 協会副会長<br>協会検査所所長                   | 今野 義和<br>奥 雄志 | 12:10<br>～<br>13:10 | 昼 食 ・ 休 憩                                 |                                 |                      |
| 休 憩 （10分）           |                                                         |                                    |               | 13:10<br>～<br>14:10 | 人口が減り続ける日本で、<br>煙火消費量は増やせるのか？             | （一社）民泊観光<br>協会<br>東北支部長         | 青柳 友哉                |
| 16:00<br>～<br>17:00 | 煙火に係わる火薬類取締法の<br>改正について                                 | （国研）産業技術<br>総合研究所客員<br>研究員<br>協会理事 | 飯田 光明         | 休 憩 （10分）           |                                           |                                 |                      |
| 17:00<br>～<br>18:15 | 懇親会会場準備のため休憩及び宿泊者チェックイン                                 |                                    |               | 14:20<br>～<br>15:20 | フリーターキング<br>今後の花火業界発展のために                 | 回答者<br>久米川 和行<br>小幡 知明<br>小口 浩史 | 進行<br>小勝 康平<br>山崎 智弘 |
| 18:15<br>～<br>19:45 | 懇 親 会                                                   |                                    |               | 15:20               | 協会事務局からの連絡とお願い                            | 協会事務局長                          | 中原 一典                |

※題目・講師については都合により変更になることがあります。

## 【開催内容】

1日目（14：00～17：00）  
 会長挨拶と会場風景



**14 : 10～14 : 40 本年の煙火消費事故と保安対策について**



河野専務から現時点での令和4年度の消費事故の傾向と主に人的・物的被害のあった事故について講演がなされた。

**14 : 50～15 : 50 ①煙火事故データベースから見えること**



今野副会長から協会HP会員専用ページで公開している煙火製造事故データベースの活用方法などについて実際にデータベースを扱いながら紹介がなされた。

**②過去の協会研修会資料（データ）の活用方法について**



奥検査所長から今後予定している過去の研修会で協会が講演した際の配布資料の有償配布と活用方法についてPRがなされた。

**16 : 00～17 : 00 煙火に係わる火薬類取締法の改正について**



（国研）産業技術総合研究所の飯田氏（協会理事）から、経済産業省で令和元年から行われている火薬類取締法の性能規定化（スマート化）のうち、煙火に係わる改正点についてご講演いただいた。

**懇親会（錦の間 18 : 15～20 : 00）**

懇親会へは来賓に経済産業省小池火薬専門職と本日の講師飯田氏の2名をお招きし、小池専門職にご挨拶をいただいた。懇親会は感染症対策を講じながら例年通りの開催方式で盛況のうちに開催された。

**青年部会運営委員長挨拶**



**ご来賓挨拶**



**会場風景**



## 2 日目 (10 : 00～15 : 20)

### 10 : 00～11 : 00 打揚筒内現象の見える化 (その2)



奥検査所長から打揚火薬の装填方法による打揚高度への影響などを計測値から評価した結果について講演がなされた。前回に続き第2回目となる。

### 11 : 10～12 : 10 麻炭の物性と燃焼性

#### (煙火に用いる麻炭と木炭、その他の類似品の違い)



松井検査所主任から青年部会から要望のあった木炭の評価のうち、「麻炭の物性と燃焼性」について、温度差や他の炭との比較した結果などについて講演がなされた。

### 13 : 10～14 : 10 人口が減り続ける日本で、煙火消費量は増やせるのか？



(一社) 民泊観光協会東北支部長で大仙市議の青柳友哉氏をお招きし、今後の花火業界の新たな取り組みなどについてご提案・ご講演いただいた。

### 14 : 20～15 : 20 フリートーキング 今後の花火業界発展のために

回答者に久米川元青年部会運営委員長、小幡前青年部会運営委員長と小口現青年部会運営委員長を迎え、以下の小テーマについて回答者及び司会の小勝青年部会運営副委員長と山崎委員から活発な発言がなされた。

- ・今年度（コロナ渦も含む）の各社の取り組み、花火実績
- ・今後の花火大会への取り組み、課題
- ・各社の人材確保、人材育成について
- ・近年の物価高への対応、花火の価格設定について

本年度は昨年より新型コロナウイルス感染症に対する規制緩和がなされ、マスク着用など感染症対策を講じながら、比較的例年の様に開催することが出来た。ただし、コロナ前と比較すると参加人数はまだ少ない状況ではあるが、昨年度より約2割参加者が増加した。なお、参加者は、熱心に講演に耳を傾け、充実した研修会2日間は盛況のうち、終了した。

以上